

根室市防災ハザードマップをご活用ください

市では、令和4年3月に「根室市防災ハザードマップ」を作成し、市民皆さまへ配布しています。

マップには、令和3年11月に北海道が指定した「津波災害警戒区域」をはじめ、土砂災害や高潮、洪水など、災害が発生する可能性のある場所などを掲載しています。また、家庭での対策など、防災に関する知識をまとめた「災害への備え」ページも用意しました。

「根室市防災ハザードマップ」を活用し、日頃の備えや市内の災害リスクのある場所、避難場所などを把握し、災害に備えましょう。



災害リスクを知る | 4~36ページ

注目ページ

情報収集手段 | 39ページ



家族防災会議 | 40ページ

備蓄品等の確認 | 41ページ



根室市総合防災訓練を実施しました

当市は『今後30年以内に震度6以上の揺れに見舞われる確率が80%程度』とされており、また、現在、北海道から公表されている被害想定において、第一波到達時間が24分、最大津波高21.7mの津波により、最悪の状況で死者数が2,300人に及ぶという衝撃的な数字が示されており、これを何としても「ゼロ」に近づけるため、あらゆる取り組みを進めています。

『根室市総合防災訓練』は、今後起こりうる地震・津波災害を想定し、防災関係機関との緊密な連携の強化や、総合的な防災活動の効率的な実施並びに広く防災思想の普及を図ることを目的としており、今年度は8月29日、防災会議19機関

と協力機関17機関、総勢約1,000名が参加し、実施しました。

訓練では、4年ぶりとなった『炊き出し訓練』をはじめ、地震により倒壊した家屋に取り残された要救助者を救助し、ヘリコプターで搬送する『倒壊家屋救出救助訓練』、交通事故により閉じ込められた運転手を救助する『車両事故救出救助訓練』、津波警報発表に伴う避難指示の発令を周知する『情報伝達訓練』、陸・海・空の自衛隊が連携して行う『緊急物資海路輸送訓練』、海上での火災を想定し、陸上・海上から放水を行う『連携消火訓練』など41項目の訓練を実施し、防災関係機関が有事に備え、災害発生時の連携を改めて確認しました。

